

様式第 3 号 (第 8 条関係)

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
教務主任 木村	1 開会のことば 皆様、こんにちは。本日は公私ともご多用のところお集まりいただきありがとうございます。また日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力を賜りましてありがとうございます。 これより、令和 8 年度 加須市立北川辺西小学校 第 2 回 学校運営協議会を始めます。 また、開会に当たりまして、本会議は、加須市審議会等の会議の公開及び会議録の公表に関する要綱に基づきまして、会議を公開することとなっておりますこと、本日の会議の会議録につきまして、後日、本校のホームページで公表させていただきますこと、あらかじめご報告申し上げます。では次に会長挨拶。会長様よりご挨拶をいただければと思います。柴田様よろしくお願いいたします。
会長	2 会長あいさつ 皆さんおはようございます。先日、サッカーワールドカップでは、残念ながら負けてしまいましたが、日本戦だけはしっかり見て、思ったことは、本田選手が言っていた「戦術ではなくて、個人の力の違いは、どうしたらいいのだろうか。サッカー協会全体で若い 10 代からどんどん底上げしなくてはいけない。」と聞いて、学校教育は保・幼・小学校の時期が重要なのだと思いました。個人が頑張っているいろんな経験をしていろんな体験を積んで人と成長していくが、それを支える環境が大事で、私たちはそのための存在価値と思ったところです。皆さんとまた様々な意見交換しながら学校のために子供たちのために頑張っていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。本日もお世話になります。よろしくお願いいたします。
加藤校長	3 校長あいさつ 皆さんおはようございます。本日は、ご多用の中、お集まりいただきありがとうございます。私も実はワールドカップのネタを用意しております。日本のワールドカップは終わってしまったのかもしれませんが、世の中はまだ盛り上がっていることを感じています。やはり代表戦っていうとワクワクしてしまう。サッカーもバレーも私はバスケが盛り上がりますけど、どうしてもやっぱり盛り上がってしまう。そうするとマスコミを取り上げますので、たくさんいろんなエピソードが聞かれます。そんな中で森保監督のサッカーの監督さんの 2025 年 11 月下旬のインタビューが目に入りましたので、紹介します。森保監督は君が代が流れると涙を流すということで取り上げられることが多いのですが、「泣くのは代表監督として何か背負っているという

	より、日本人である喜びと誇りが湧き出てくるからです。国家ってすごいと思うのです。なぜかあの瞬間、自分に歴史が降ってくるみたいな感じがして、日本という国も日本サッカーも過去があって、今があるという感覚になる。日本史を深く語れるほど知識があるわけではないけれど、これまで戦争で犠牲になった人たちを取り上げる歴史の番組をよく見ます。国歌を聞くたびに、豊かな社会の中で育ち、自分の好きな仕事に取り組めることへの感謝の気持ちが湧き上がってきて、涙が流れてしまうのです」とおっしゃっています。やはり先人の苦労があって、今があるという点を私もととても共感して、この言葉を今日皆さんにご披露したいと思いました。皆さんのおかげをもちまして3ヶ月間大きな事故もなく、今日までやってくることができました。もう1年の半分終わってしまいました。西っ子に目を向けますと、子供たちは夏休み前のテスト期間です。だから日々頭を悩ませながらテストに取り組んでいます。そんな中で5年生は臨間学校に向けてキャンプファイヤーや係のこと等、一生懸命頑張っているところです。本日は内容が盛りだくさんではありますが、皆様のご意見をいただいて有意義な会になりますようによろしくお願いします。
村山教頭	4 議題の確認 放課後子ども教室について 実施計画の具体的な日にちと内容は決まっています。例えば防災、フロアカーリング、マジック体験、ボッチャ等です。
島崎	これは誰がやるのですか。
加藤校長	昨年度末に子育て支援課の方がお見えになって、私や柴田さんが話をし、年1回ぐらい手始めにやってみませんかということで、年度が終わり、今年度になりまして計画を具体化させたいということになり、子供教室の準備会の日にちをまず本日に決めます。メンバーは、地域の方、PTAの方を入れて、準備会を立ち上げ、それを実施委員会にしてこれからもやっていきたいということです。去年から知っている柴田さんをお願いし、PTAの方もいらっしゃるということで、この場で議題にするといいのではないかとということで、議題にあてさせてもらいました。柴田さんは入っていただきたいなと思います。また、ここにいるCSの方々も委員に名前を連ねていただける許可を得られるならば、入れさせていただきたいです。皆様方のご賛同いただけたら本校はメンバーがいることと、協力いただけることを市の子育て支援課のすくすくに伝えます。他の学校では1、2回実施しています。繋がりをもっているのは、市ではなく、学校窓口にして募っていきます。その通っている子供たちにいろんな体験をさせ、放課後に何回かやりたいという流れがあり、今年は手始めに1回行います。久喜市でも放課後子供教室やっていましたが、放課後の子供が地域の方といろんなものに触れている。例えばプラレールで

	コースを作って遊ぶとか、スポーツ吹き矢体験するとか、リース作りをするとか、クリスマスパーティーをするとかが久喜市の実例です。初めに組織を立て作るという段階です。賛同いただける方を募り、行政のメンバーと学校の地域の方と保護者さんと決めていきたい。第一回の実施委員会をもちたいので、その日にちを決めていただけるとありがたい。この学校運営協議会委員の皆様はご協力いただけますか。
会長	提案にある防災教室では子供は興味がないと思っていたのですが、変更できるといいですね。2回目は集まりやすいやつの方がいいですね。内容は、以前来校いただいた石和田さんが手品をすぐに手品教室も案の一つとしていいですね。メンバーは今、ここで賛同いただけました。
校長	防災教室でダンボールベッドを作るとなったら、子供は、いくらでもやると思うので面白いです。以前にやりましたが、意外と寝られます。ただし、材料費がかかります。防災関係だったら、昔自分の子供が小学校に行っていた頃にサバ飯を体験しました。サバ飯で空き缶アルミ缶 2 個と牛乳パックを切って、それを焚き木にしてご飯を炊いたのですが、なかなかうまくは炊けなかったです。無洗米を炊くのが結構面白いです。
片山	普段できないことをやるのか、別の人を呼んで、学校で企画してできるようなことであれば、あまり意味がないかな。参加人数が約 30 人だとすれば、普段だったら絶対できないような経験をさせてあげるといいですね。じゃあ今度やってみようかなっていうことになるのかな。
校長	気球は、いいのですが、風が吹くとできないですね。天候に左右されてしまう。火の取り扱いに気をつけながら、キャンプは、いいですね。校庭で焚き火ね、火の起こし方は面白いですよね。サバイバルですよね。時間が限られているから難しいですが、その中で火起こしとかサバ飯とかも含めて検討する感じですね。ありがとうございます。
教務主任	時間になりました。この後、皆さん子供たちの様子をご覧いただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
木村	校内巡視
校長	資料が足りなかったもので、裏面を全部コピーしたものを置いています。最初に子供教室とは、どういうことなのっていうことの答えが 1 ページ目に、今後のスケジュールの案が 5 ページ目に書いてありますので、そちらから参考にいろいろ考えていただけたらと思います。
木村剛	想像する力の育成についてと、地域の方々との結びつきを深める取り組みについての協議を進めます。
会長	それでは進めていきます。前回もフリートークの皆さんでどうですか、想像する力の育成に進んでいきたい。どうしたらいいのか、あとは地域の方と

	の学校と家庭とみんなで育んでいくから、それを何とかしていこうよって話をしましたね。実際、未来想像する力をどのようにしていったらいいのかな。こちらについてご意見ありますか？
福地	やはり、読書が大きいと思う。学校の読書の取り組状況などを教えていただけるとまずありがたい。
木村剛	着々と読書に親しむ子が増えてきました。コロナ時に二階堂校長先生と一緒に相談しながら、「読もうか」というタブレット端末で本を読む。いろんなたくさん本を読めて、ページが貯まるとポイントをもらえ、楽しみながらスタートしました。もちろん普通の本も読んでいます。タブレットとハイブリッドで読むことに関しての興味を始めていきました。当初は、本を読むより、遊ぶのが大好きな子が多かったのですが、本を取ってまず開いてみようっていうところをやり、次第に入り込んでいき、読書好きな子が増えてきました。それがそのまま続き、今現在ではあの業間休みや昼休みに図書室を開放し、近くにゴロスペというゴロゴロ休めるスペースで、みんなで本を読む場所で本を読んだりしている子が増えました。あとは読書貯金で、読めたらどんどん増やしていくことも活動として取り組んでいます。
島崎	やはり福地さんの言うように読書が必要ですね。それと同時に、SNS に最近の子供があまりにも頼りすぎて、時間を費やしていることが果たしてどうなのか。それが SNS を見る時間がその想像力を阻害している。だから SNS に使う時間をどうしにかしていけないと想像力というものがやっぱり伸びていけないかな。
片山	子を見ていると保護者だな。時間を忘れて費やす時間があまりも多い。ただ SNS からはもはや離れられない。じゃあ、そのアプリに読書もあるから、その使い方ですね。スマホからは、今の子供達はもうちょっと離れるのは不可能で、中身のコンテンツの面白みやその読書コンテンツも色々あるわけだから、その面白みを逆に教えていってあげられた方が今の子供たちにはわかる。紙媒体の本ってなかなか慣れ親しんでないと思う。あとは使い方で本を音読で読み聞かせてくれる。本を読むよりも便利になっている。その使い方をもっと面白みをもたせてあげればいいのか。個人的に取り上げるとストレスになる。学校からおすすめアプリみたいなのはないのですか。
校長	おすすめアプリはいっぱいあると思いますが、学校を離れて家に帰って使うかと言ったら、おそらく使わない。もっと楽しいものがある。今、みんな映像になっている。漫画ですけど、みんな映像からで聞くのは目に入るけど、自分で読まないから漫画とか読む、いや喋ってくれて聞き流したくなるほど読めば違うのかな。自分は今、給食時に「頭が良くなるお話 366」っていうのがあって、それを月水金の給食の時に読んでいます。放送室からワイヤレ

	スマイクを持って教室に行き、子供の隣に座って読んだりしているのですが、それに対する各クラスの担任の意識が違う。あるクラスに行くと、校長先生がお話しているときは、お友達とのお話をやめて、食べながら聞いてなさいっていうクラス。あるクラスに行くと友達と話しながら聞いているクラス。あるクラスに行くととこう友達と話さないで、黙々と食べているが、お話の中って難しい言葉がいっぱい出てくるので、それを大型モニターで先生が言った言葉を提示するクラス。やっぱりなかなか定着しないですけど、全校に発信している中の数人でもいいから想像する力がつけばいいと思っています。あまり全体に対して指導すると給食の時間ですからっていうのがあるから何人かでいいから想像する力がつかないかなと思ってやっています。
教務主任 木村	昨年度 1 年生で、クラスルームに絵本広場というのをセットしました。子供は課題が終わったら、この中で選んでいいよとすれば、いろんなサイトを開かないので、便利でした。実際に本があり、実物の本を取りに行つてほしかったが、結局そうするとダラダラしちゃったので、この時間中はタブレットで読もうってというような形で、本を読むことを行いました。
山崎	読書一つでも変わってきていますね。家庭でどれぐらい読書しているのだろうか。僕は子供が嫌がるぐらいやります。たくさん質問したり、問い返ししたりして、子供にどう思ったのと聞きます。単語でしか答えてこないですけど。次の正解を見つけて与えたりすることは想像力がなくなってしまう。さらに今は昔と違って、車も増えて、外の遊び場的なところも減っている。立ち入り禁止の場所も多くなっている。実際近くに子供いなくなっている現状もある。そうになると、学校でやらせなきゃいけないものが多くなってきました。周りの環境が変わってきている。子供の頃は自転車でどこまでも行ったことがある。危ないことを知っているから、逆に事故にも合わない。環境を与えると子供はその能力を失ってないような気がする。
福地	この春休みうちの孫が 3 人集まって、秘密基地を作った。掃除機を持っていき掃除したり、道具を持って土台作りをしたりしていた。見ていて、環境さえ与えれば子供たちはやりますよ。ダメなはない。環境があればそういう力を発揮することを感じました。この現状の中で、どうしたらいいかってという話なのでしょうね。
会長	ライスパークのところの用水路に入ってザリガニ取りしたり、遊んでいたりしていた。今の子供に聞くと 4 か所ぐらいしか公園がない。法律が変わって、ザリガニを持って帰るのは、いけないことなんて信じられないですよ。数年前までは保育園のところに伺わせていただいて、2 年生がザリガニ釣りをやらせていただいた。生活科でイカをつるしていたが、今は行けない。楽しいですけどね。成功体験とか失敗したりして考えると、こういうことをや
教務主任 木村	

校長	った方がいいなっていうのは何かありますか。 図工教室という絵画教室の山本俊一さんがコミュニティを作ろうとして、一生懸命、頑張って活動されています。大杉神社のお祭りを 7 月 12 日にやるということで行こうかなと思っています。子供たちにそういう体験をしてほしいお祭りです。自分は小山市の須賀神社っていう神社の参道にあったので、夏祭りは興を担いだり、地域を回ってジュースもらったり、ポテトもらったりして、祭りってすごいなと思っていました。そういう行事がなくなり、ラジオ体操は自分も小学校の頃には眠い目をこすりながらラジオカードも夏の宿題でした。それは自分の生活習慣を整わせるっていう学校側の意図があったと思う。夏祭りもサマーフェスティバルもうちはやってくださり、地域の方々がいろんな行事をやっているの、学校としてはそういうものに参加してほしいと背中を押すことはできます。先生方も時間があるなら顔を出してみしてほしいな。地域の人も先生が来たって喜んでくれるし、子供たちも嬉しい。先生が来てくれた一って。インパクトが大きい。そういうことはできますね。自分が思っている地域の方との結びつきを深めるのは学校農園です。島崎さんにさつまいも植えていただいたのですが、収穫後に民生委員さんに貸し出そうかな。ここの農園使って、水も使い放題だから来て、子供たちの様子を見ながらやってくれませんかとか。みなさん一緒にやったらどうですかと思っています。
会長	みんな子供たちや地域に協力したいという気持ちがとても強い。ぜひこんなのがあったらいいなっていうのが、協力できる人が、地域にいる。周りの人もやっぱりそうやってなかなか自分の子供がいなくなると課題意識がなくなってしまう。
校長	大きいイベントもいいのですが、日々のちょっとしたことが今後、繋がっていけばいいのだろう。学校の図書館の整備とかしてもらえたら、いつでも好きな時に来てやってもらえたりして面白い。民生委員さんに時間がある時に来校してと頼んだけど、なかなか来ない。いつでもウェルカムです。特に 1 人だと入りにくそうで、みんなで集まると言うときと平日だと仕事があるから無理とかになり、なかなか行かないみたい。1、2 回来れば、こんなものかという風になる。1 回来ればハードルが低くなり、私も一緒に行くわよって言ってくれるかな。そういう機会をこちらが働きかけていくことで新ルートを開いていかないといけない。
山崎	前回話に出た資源回収についてですが、集会所について縮小したっていうところですが、保護者の人数減少ということもあり、3 箇所絞ってやったところ、大塚と柳生は、多少あったのですが、新屋敷は、全然集まらなかったの、次は 2 箇所絞って、だんだん縮小していこうという話を PTA の

校長	方では話し合っています。親子除草は今後も今後も続けていくということを本日部長会で話をしていければと思います。また決まり次第お知らせします。以前までは二十箇所以上を回っていたのですがトラックを持っている人がなくて、その日のうちに回ることが難しいため、今回は3箇所にさせていただきました。行政の資源回収も前後に重なり、極端に少なかった時もありました。これではトラックを出してもらってもしょうがない時もありました。その辺を見定めながら今後の活動をしていければと思います。
校長	何か行事をやるって時にお金があるとないとは全然違うと思う。PTA 会費とは扱いが違うのかなと私は勝手に判断していて、PTA 会費に関してはこういうことをお願いしますっていう使い方はいけないのかなと思っています。この資源回収のお金に関しては、ちょっとお願いしますと言ってもいいのかなという認識ではあるのですけど。子供たちのためにということで集めている。前回の早番でもうまく活用させてもらって集約する場所を減らしてでも多く資源を集められれば、僕らも負担が減らない方向にお願いしやすいので、そういった形でうまくいければいい。
校長	10月までの行事を、学校関係の洗い出してみました。水色で囲ってあるのが学校外の活動になります。地域の方との関係性があることと、校外学習とかが載っています。社会科見学をみていただけたらと思います。9月7日から水泳学習が始まります。古河市のあかやまです。古河行きのバス酔いする子はどうするのだろうか自分の中で腑に落ちてない。20分ぐらい乗るとバス酔いしてしまう子がいると思う。薬を飲んでいいのか。薬を飲んで水泳していいのか等心配なところです。あと1点皆さんに11月18日を4回目にご案内していますが、5日に変更でお願いします。変更ありがとうございます。私の持っている議題は以上です。ありがとうございます。
教務主任 木村	8 閉会のことば 以上で令和8年度第2回学校運営協議会を閉会いたします。ありがとうございました。次回は9月16日予定しております。どうもありがとうございました。
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。 令和8年7月7日 署名 <u>教頭 村山 明宏</u>	

(注) 特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。